

こだま Q&A



Q76

糞便検査の、腸管病原菌の報告日数を教えてください。また、提出まではどのように保存すればいいですか。

A76

糞便中には多数の腸内細菌が存在するため、分離培地や特殊培地に塗布し、翌日発育した菌から同定検査を実施します。そのため、腸管病原菌の報告日数は、検体受付日の翌日を起算日とし、2～3日かかります。

菌の発育状況や生化学的性状確認などによる再検査などで報告日数が遅延する場合があります。この様に遅れが発生する時は、4日目に途中経過と最終報告予定日を記載し、FAXにてご報告させていただきます。

保存方法については、腸管病原菌の *Vibrio* や *Campylobacter* は低温に弱いため、検体は室温での保存をお願いいたします。



お問合せ： ☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 細菌係

きゅわんボール

花粉症の三大症状は「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」という鼻に現れる症状です。また、眼に現れる症状も多くみられます。私は2月初旬から鼻水が止まりません。数年前から軽い症状で乗り越えていましたが、ついに薬に頼らなくてはいけなくなりました。

日本気象協会の2017年の花粉飛散予測は前シーズンに比べ西日本でも多い飛散数となる見込みだそうです。最近では、花粉シーズン前から始めておく治療法も知られております。毎日の食生活でポリフェノールや乳酸菌を摂取することが効果的といわれております。みなさんは、どの様な対策で乗り越えられていますか。私は、来年に向けて食生活から変えようと考えております。

釘宮 亘 (検査科血液・尿一般係主任)